

絵てがみ体験授業



- とき 平成21年12月10日
- ところ 啓北中学校
- 参加者 2年生150人
- 講師 苫小牧絵手紙の会 鈴木 臣子さん他3人

はがきサイズの用紙に野菜やキャラクターなどの絵を描き、気持ちを文章で添えました。講師から「自分らしさを表現する」というアドバイスのもと、参加者はそれぞれの気持ちを込めた作品を完成させ、絵てがみの楽しさを体験しました！



書道体験授業



- とき 平成21年12月1日、2日、8日
- ところ 日新小学校
- 参加者 3年生90人、4年生106人、5年生92人
- 講師 書道啓心社 河原 啓雲さん他1人

3年生は「友だち」、4年生は「美しい朝」、5年生は「世界の国」を書き、参加者は手本をみたり、講師に筆と一緒に握ってもらい、ポイントを教わりながら真剣に取り組みました。書道ならではの緊張感や筆を使って文字を書く楽しさを体験しました！



琴・日本舞踊・和太鼓・華道・茶道体験授業



- とき 平成21年12月10日
- ところ 日新小学校
- 参加者 6年生109人
- 講師 琴=苫小牧三曲会 山崎 雅薫さん他1人
日本舞踊=板東流 板東 登喜春さん他1人
和太鼓=元中学校教諭 岡澤 幸一さん
華道=苫小牧華道連合 諫早 光子さん
茶道=裏千家淡交会 関根 幸子さん他1人

琴では、指使いなどの技法を習い、最後に「さくら」を演奏。日本舞踊では、浴衣に着替え歌舞伎の男役に挑戦しました。また、和太鼓では、パチの持ち方から教わり、リズムに合わせ太鼓を演奏。華道では、数種類の花を自由な感性で生け、華道の初歩にチャレンジ。茶道では、お点前の基本作法を学びました。どの授業も日本の芸術に触れ、楽しさを体験しました！



芸術をもっと身近に！

特集

～アウトリーチ推進事業を行っています～

詳細 文化振興課 ☎32-6752

市では文化芸術振興のために、さまざまな事業を展開しています。今回の特集では、平成21年度からスタートしたアウトリーチ推進事業についてお知らせします！！



豊かな心をはぐくむために
芸術に触れることや親しむことは、私たちに楽しさや感動、安らぎや喜びをもたらす、心豊かな生活には欠かせないものです。市では、豊かな心の育成と文化の向上を目指し、各種イベント、展示会などさまざまな事業を展開しています。平成21年度からは、芸術を身近に体験できる「アウトリーチ推進事業」を開始しました。

アウトリーチとは
アウトリーチとは、「手を伸ばす」という意味を持ち、主に社会福祉事業などにおいて、医療・福祉関係者が直接出向いて心理的なケアを行うとともに、必要とされる支援に取り組むなどの活動の意味で使われています。今回の事業でのアウトリーチとは、芸術家が学校などの公共施設に出向き、直接授業を行う活動のことを表しています。

この事業は、市民の皆さんが集まる場所を会場とするため、日ごろ、芸術に触れることが少ない方も、芸術に親しみ、関心を持つきっかけになります。また、芸術家が直接指導するため、本物の芸術に親しめるとともに、創作する楽しさを伝えられるなど、多くの効果が期待できます。

今年度は、児童・生徒が芸術の楽しさを知り、豊かな心をはぐくむ目的で、市内の小・中学校3カ所で開催された。

講師のおはなし



苫小牧陶芸協会会長
佐藤 栄さん

子どもたちは発想が大胆で独創的なところが良いですね。今回の授業をきっかけに、陶芸に興味をもってもらえるとうれしいです。

このアウトリーチ推進事業は、芸術の素晴らしさ、楽しさを知る良いきっかけになると思います。ここで教えた子どもたちが、このまちの文化を支えていってくれることを期待しています。

文化の薫るまちを目指して

アウトリーチ推進事業は、今後、学校だけではなく、児童館やコミュニティセンター、空き施設などのさまざまな会場での実施を検討し、内容の充実を図っていきます。また、この事業により、芸術に興味を持ち、豊かな心をはぐくむきっかけになるように、積極的に事業を展開していきます。

芸術に触れ、親しむことは日常生活を潤いのあるものにするだけでなく、心の財産にもなります。市では今後も各種イベントや展示会などの文化関連事業を積極的に開催し、豊かな心を育成するとともに文化の薫るまちを目指します。

陶芸体験授業

- とき ①平成21年11月15日 ②平成21年12月24日
- ところ 大成小学校
- 参加者 ①PTA20人 ②6年生31人、PTA・教員計21人
- 講師 苫小牧陶芸協会 佐藤 栄さん他1人

講師から陶芸の基礎手法を学び、手びねりの手法でカップや皿などを作製しました。参加者は自由な発想で個性的な作品を作り上げ、初めて陶芸の楽しさを体験しました！

